



第31号  
題字 佐田一郎

発行/前橋商工会議所青年部(緑水会) 前橋市日吉町一丁目8番1号 編集/青年部総務広報委員会

# 二十年の伝統を礎に新しい創造を!!

## 一年を振り返り思う



前橋商工会議所青年部  
代表幹事 都丸 和 俊

日本経済界が大きく、また急激に変化してゆく中、前橋商工会議所青年部が今年度のスタートにあたり、我々は原点回歸まず基本理念の再確認と我々青年部の責務について考えたうえ事業計画をさせて戴きました。副幹事、委員長のリーダーシップのもと会員の情熱と協力により、計画事業が実施されました事に心より感謝申し上げます。

各事業につきましては、担当委員長から思い出として綴られると思しますので私からは省略させていただきますが、一つの事業を計画し、創意と工夫を重ね実行する行動力こそ、我々青年部の源であったと再確認させていただきました。

事業に関しては毎年検討に検討を重ね、継続や変更また新たな事業が企画されます。全て我々青年部の伝統と経験から培われた事により、継承し、また新たな創造が生まれ実施出来るのであると考えます。我々の行動こそ真の力であり、緑本会のパワーは今後も大きな力となっ

て行くことと思います。

今年新たに17人の新会員が入会されました。この新しい力を更に磨きあげ大きなパワーにする事こそ、我々緑本会の発展であり、それが地域社会の発展に繋がるのであると思います。その為にも会員一人一人が、広い視野から多角的に学び、互いに情報を発信し各自が成長し、企業が繁栄する事が、我々の責務であると思います。情報革命が急速に進み、インターネットの普及により地域や企業の価値観が大きく変わってゆくなかで、我々は獨創性に富んだチャレンジをして行くことが望まれます。次代への先導者としての責任を自覚し、各自が努力して行きたいと思っております。

最後になりましたが今年一年間、諸先輩の御指導御協力に感謝申し上げますと共に、今後は21世紀に向けて大きく変革すべき時代であることを全会員の意識もとに努力して行く事が今後の青年部の活性化であると考えておりますのでご支援の程宜しくお願い申し上げます。

## 副幹事の一年を振り返って



副幹事  
羽鳥 亘

本年度、緑水会全体の副幹事及び総務広報委員会担当の副幹事として、また、チャレンジ・オブ・トネ特別委員会委員長として沢山の貴重な経験をさせていただき本当に感謝しております。

特に、チャレンジ・オブ・トネ特別委員会委員長として昨年2月から7月26日の開催当日まで、緑水会内における会議・意見調整や共催団体である伊勢崎・本庄・深谷の各商工会議所青年部との打ち合わせ、また、各協力団体や関係機関との打ち合わせ等、本当に多忙を極めた日々でしたが、第18回チャレンジ・オブ・トネ大会が大成功に終了し、一つの事業を成し遂げるといふ感動を実感させていただきました。このような貴重な役目を与えていただき、ご支援いただいた緑水会の皆様及び都丸代表幹事に改めて感謝いたします。

また、昨年10月の「前橋まつり」の際には、だんべえ踊り部会の部長として、だんべえ踊りに関する多くの貴重な経験をさせていただくとともに、三千人という多数の参加者が一同に踊る姿勢に感動いたしました。

今後とも積極的に緑水会活動を行い、多くの経験を積み、自己研鑽に務めていきたいと思っておりますので、よろしくお願

### 副幹事の一年を振り返って



副幹事  
長谷川 秀明

平成11年度副幹事として経営研究委員会と地域開発委員会を担当させていただきました。会員の皆様には1年間大変お世話になりました。

副幹事は代表幹事を補佐し緑水会全体の円滑な運営、また活性化をも図っていくという立場だと思っております。この一年間はまあまあ成績を上げたのではないかと自負して居ます。さて緑水会活動ですが4月のローズクイーンに始まりチャレンジ・オブ・トネ、花火大会、前橋まつりといういろいろな事業をおこないました。出席できた行事はすべて楽しむ事ができたとおもいます。特にチャレンジは18回になりますが初めて乗ることができてとても楽しい思い出ができました。これからもこの事業を続けていってもらいたいと思っております。

最後になりますが緑水会は年齢及び業種の枠を越えた付き合いが起き、自己研さんの場にも出きるすばらしい会です。まず会員皆様の出席率を上げるようにお

願います。

### 副幹事の一年を振り返って



副幹事  
小曾根 英明

都丸代表幹事のもと、この一年間無事に副幹事を務めることができましたのは、ひとえに各委員長をはじめ、全会員の皆様のご協力のおかげと感謝しております。

今年度は千年紀『ミレニアム』という節目の年を迎え、会員の皆様におかれましては緑水会活動以外でも各種イベント等、多忙をきわめた年ではなかったでしょうか。

緑水会においても主幹事業の他に行政機関、各種団体からの要望も年々多くなり、今年度も「前橋市政モニター」「前橋市観光協会」「前橋市国際交流協会」「前橋街づくり協議会」等へ参加協力しており、出向メンバーには頭の下がる思いであります。また新しい会員の皆様はこの一年間の積極的な姿勢には副幹事として大いに感謝するところであります。来年度はいよいよ21世紀を迎え、緑水会の伝統を礎に柔軟な発想を持って、前橋の地域発展に努めてゆきたいと考えております。

私的には『Eメール』導入の案に、そ

ろそろ重い腰を上げなければと思っております。

今年度も一年間ありがとうございました。

### 一年間を振り返って



総務広報委員長  
山岸 直樹

本年度、初めて委員長をさせていただきました。いろいろありましたが、あつという間の一年間でした。沢山の事業にご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

振り返ってみると、「自分なりにかみ砕いて、好きなようにすればいいんだよ。」と、いろいろな人から言われて始まりましたが、いざ実行となると、なかなか出来ないものだなと思えました。以前から言われていた「代表幹事や委員長等の二年以上継続論」もなるほどなと実感しました。

一つ一つの事業に対しての思い入れや感想は、沢山ありますが、全体的に思ったことを書かせてもらいます。

創意工夫して行ったそれぞれの事業であるのに、終わってから本当の意味の反省点や感想が、あまり拾われていないようです。そのため事業の継続に必要な改善点などが、見えにくくなっていると思えます。さらに申しつぎの方法の確立が

後々よりよい形でつなげていくためには、大変大切なことだと思えました。

遊び心を忘れずに、連携を深め、緑水会らしい大人の会の活動をしていきたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願

### 委員会事業を振り返って



会員交流委員長  
星野 哲也

平成11年度会員交流委員会活動は、都丸代表幹事・小曾根副幹事のご指導のもと、事業計画を予定通りに遂行できました。特に会員拡大を夫きな目標とした会員全員による積極的な行動は、すばらしい成果をあげ、20名近い新人の増加となりました。

緑水会を活性化するためには常に新しい人材を投入することが必要であり、将来の柱となる優秀な方々に入会いただけたと確信しています。

新入会員の皆様には、大きな夢をもち、社会に挑戦し、青年経済人として地域社会でご活躍されることを心から期待しております。

私にとつても、多くの新たな仲間と知り合えた喜びで感激の1年でした。

今年度の事業活動に関しては、副委員長と理事から事業単位に責任者を選任

し、その活動内容にに応じて各委員を  
担当者として役割分担いたしました。担  
当責任者を中心とした意欲的な事業の運  
営は、円滑に実行され、会員相互の親睦  
を深められたと確信しております。新人  
の皆樹にとってはスタートから責任ある  
役割を担うことになり「苦労もあつ  
たと思います。大変お疲れさまでした。

最後に、会員交流委員会会員全員と事  
務局のご協力で、「元氣よく・楽しい」  
委員会活動ができたことのお礼と、次年  
度の茂木新委員長と会員交流委員会  
全員の活躍をお祈り申し上げます。

### 委員会事業を振り返って



経営研究委員長  
嶋田大和

平成11年度の経営研究委員会の委員長  
を都丸代表幹事より仰せつかって、はや  
一年が終わろうとしております。期待と  
不安の中、「会員の皆様に、少しでも有  
効な情報提供を」をテーマに、委員会事  
業を企画・実施してまいりましたが、会  
員皆様のお役に立たかどつか、はなは  
だ心苦しく思っております。

2月の講師例会、前橋広域消防のご指  
導による救急蘇生、前橋警察署のご協力  
による暴力団基礎知識、金子会頭を囲ん

での懇談会・群馬総合カードシステム株  
様のご厚意による会員企業探訪と、個人  
では、なかなか機会が得られない勉強  
会・研修会を目指して実施しました。関  
東ブロック大会にあわせての先進都市視  
察、警視庁の視察では手違いがあり、参  
加の皆様には大変ご迷惑をおかけしまし  
た。インターネットの現状勉強会。この  
1、2年での爆発的な普及、展開の状況  
を勉強していただきました。勤労者海外  
視察研修を団長として立派に職務を果た  
して参りました。会員の皆様の期待、要  
望には、十分に満足いくものではなかつ  
と思えますが、この1年間ご協力大変あ  
りがとございました。最後に、経営研  
究委員会の委員の皆様、1年間ご苦労様  
でした。

### 地域振興例会つてなに



地域開発委員長  
荻野修二

2年目を迎えた地域開発委員長には、  
のみの市を昨年限りで終了した為、新た  
な事業を実施しなければならぬブッレ  
シャーがありました。

地域開発委員会の名前にふさわしい事  
業、会員が遊べて、楽しい、そして、前  
橋を新しい視点で見直し出来るよう  
な事。最初に浮かんだのが広瀬川でありま

す。前橋の案内には必ず紹介される川、  
最も身近でありながら有効活用されてい  
ない川、その川を遊ぼうと考えました。  
しかしあの水量では、川遊びには危険過  
ぎるし、何かいいアイデアはないものか  
そんな時思い浮かんだのが、弁天通りに  
おいてある小舟です。かつては広瀬川に  
船を浮かべ、粋人たちが宴会をしていた  
とか。さぞや楽しかったに違いない、そ  
れを再現してしまおう。舟は無理なので  
川の中に足場を組み、京都の川床のよう  
な物を作りその上で楽しい宴会。委員  
会の中でも大いに盛り上がりました。

しかし、世間は甘くないもの、許可を  
もらう段階で頓挫。最終的には皆様ご存  
知のとおり、広瀬川のイルミネーション  
に協賛し、楽しいイベントになりました  
が、まだ心残りであります。どなたか再  
度チャレンジしていただけないでしょ  
うか、広瀬川のイメージが大きく変わるよ  
うな感じがします。私がOBになる前  
にお願いします。

最後になりますが、1年間委員会に参  
加して頂いた委員の方々に感謝をいたし  
ます。



### 事業推進委員長を振り返って



事業推進委員長  
狩野文雄

昨年もこの時期に同じ題で原稿を書か  
せていただきましたが、やはり一年を振  
り返ってみまして、大過なく努めさせて  
いただいたのは、委員会のメンバー、会  
員、事務局の皆さんの協力の賜物と感謝  
いたしております。

特に凧揚げ大会においては、全会員の  
半数くらいのお手伝いを頂き、無事に終  
了することができました。この事業に関  
しては、メンバーからも不評で、どうな  
ることかと思っておりますが、無事終  
了してホッとしております。

凧揚げ大会に限らず、全ての事業に関  
して言えることだと思いますが、毎年の  
継続事業だからやるんだという考えでは  
なく、委員会メンバーで既存の考えを捨  
て見直しを図り、やめるべき事業はやめ  
るべきですし、改良した方が良ければ改  
良し、従事するメンバーが楽しく参加で  
き、また参加していただいた一般の方々  
からも賛同を得られるような事業にでき  
たら最高だと思います。ただ結果は一年  
や二年では難しいかなと思います。青年  
部に定年があったり、メンバーの交替が  
あったり、問題は山積しておりますが、

青年部内の問題だと思いませんので、本年度の事業推進委員会のメンバーには頑張り続けていただきたいと思います。  
最後に、大風が上がった瞬間、誰となく沸き上がった万歳三唱が今でも耳に残ります。



三月に七名の方が卒業されます。在籍期間二十年年のベテランの方もおります。この間、様々な思い出があるのかと思いますので、この紙面でご紹介いたします。

ご卒業なされましても緑水会に対するご指導・ご協力をお願い申し上げます。長い間、本当にご苦勞様でした。



荒井 滋

緑水会に入会して十年以上が経過して、卒業を迎えることになりました。最初は右も左もわからず、諸先輩の皆様いろいろな教えていただきました。もう卒業とは、月日がたつのは早いものだと思います。今はもう子供も二人できて、白髪も増えはじめました。

緑水会に入会させていただいたのは昭和六十二年ですが、今年一緒に卒業する吉荒さんの紹介でした。はじめて出席させていただきますと、長谷川さん、熊倉さんはい、萩原さんはい入ってくるなど中学の同窓生が多数いましたので、委員会が終わったあと、一杯飲みに行くのがとても楽しかったです。しかし、年を重ねるごとに、だんだん出不精になってしまいました。皆様には多大な迷惑を掛けっぱなしでしたが、花火大会の警備をしながら観させていただいた花火の美しさ、あんな近くで見たのは感動そのものでした。前橋まつりの華やかさ、視察旅行の素晴らしさ、つい一月に行かせていただいた卒業旅行、あまり出席できませんでしたが、大変貴重な経験をさせてくださいまして、誠に有難うございました。緑水会の経験を生かし、これからもがんばっていききたいと思っております。



石田 守

緑水会に入会以来、様々な事業を通して沢山のひと知り合い、楽しい思い出を作ることができました。そのときどきにお世話になった皆様に心より感謝申し上げます。

緑水会の活動は、会員一人一人の積極的な参加と行動により、会が活性化し、有意義なものとなると考えております。

が、私自身なかなか出席することができずに少し残念でした。

卒業は、まだまだ先の事と置いていますが、いざ自分の番となつてみて、時のたつのが早いことを実感しています。

設立以来、諸先輩の方々が築いてくれた文化と伝統を継承しつつ、さらなる飛躍をしていただく事を願います。今後の緑水会の皆様、益々のご発展とご活躍を御祈念いたします。



栢野 二喜造

「あーとうとう卒業の年がきてしまった。なんて寂しいのだから」  
入会して約十五年

年本当に短く感じましたが、青年部でなくてはできない色々な経験をさせていただき勉強になりました。在籍中、委員長を三回もやらせていただき大変光栄に思っております。まして、会員交流委員会の委員長を続けて二年やらせていただいた時は、新入会員がなんと四十名入り名前を覚えるのが大変でしたが、これから先そのメンバーが青年部で活躍してくれると期待しております。

昨年からチャレンジ・オブ・トネ特別委員会ができ、長年チャレンジに携わってきた私としては、四単会合同事業として青年部そして事務局に認識していただいたと思大変喜んでおります。これ

からも青年部が立ち上げた事業として永遠に続けていってほしいと思います。

これから機会があれば青年部のイベント等に優しいOBとして参加させていただきますので、よろしく願います。



熊倉 康隆

これでも、入会当時から三年位はパーフェクトもあつたと思う。振り返れば16年間色々

とありました。平成4、5年頃からは仕事の関係で長期出張が多くなり、出席率も悪くなり、ご迷惑をお掛けしました。ただ、そんな時でもたまに役員会、委員会に出ると、久々、生きてたの？、と、好い仲間が多い会だと思えました。

最後に、体が一番の資本です。私は4年前ですが大病をしました。ぜひ自己の体の管理には十分に気を付けていただきたく思います。

緑水会の今後のご発展をお祈りいたします。長い間ありがとうございました。



萩原 康 行



卒業を迎えるという立場になるのは、学生時代以来二十数年ぶりのことである。今年三月をもって卒業ということとは、以前から認識していたことであり特別な思いはなかったはずである。しかしこうして間近に迫ってくると、正直あまり積極的な会員でなかった私でさえ、少しもの寂しいとでも言うか、感慨深い気持ちにさせられてしまう。

平成一年に入会し、それから十一年目の月日が経過したという事実が信じがたい。光陰矢のごとしとは正にこういうことを言うのである。

入会して数年間は若かったこともあり、チャレンジ・オブ・トネや花火大会そして前橋まつり等の警備も楽しみながら参加し、会議等にもほとんど出席していたように思う。それがここ数年、自社で代表取締役として以来時間的余裕がなくなり、諸行事や会議等からだんだん足が遠退いてしまい、会の運営に一生懸命取り組まれている幹事、委員の方々には大変申し訳なく思う次第である。

今後の緑水会には、会員の方々が一致協力し知恵とエネルギーをふり絞り、過疎化が進む一方の前橋の街の活性化に向け全力を挙げ取り組んでいただきたいと

願って止まない。

長谷川 秀 明



昭和55年4月入会し、はや20年よくもまあ続けられたと自分自身で思っています。入会

当時は右も左もわからないことばかりでした。時がたつにつれて、すばらしい先輩達に囲まれて緑本会活動も生活の一部になっていきました。入会当時のメンバーは全員卒業していきました。時のたつのは早いなあと思います。今では通算二百名以上の人たちとの出会いができました。これは自分の人生の中ですばらしい時だったと思います。また自分にとっての宝だと思えます。

緑本会は年齢及び業種の枠を越えて付き合いができる素晴らしい会だと思えます。まずはいろいろな行事に参加することが大事ではないかと思えます。

最後に緑水会の益々の発展と会員の皆様のおかげからの活躍を祈念しまして、卒業の挨拶とさせていただきます。長い間本当にお世話になりました。ありがとうございました。

吉 荒 正 浩



昭和57年5月に緑水会に入会以来、新しい発見続きの18年間でした。入会当初は会にもな

じめず、どうしようかと思っておりましたが、各行事や委員会など諸先輩から誘いの電話をいただき、だんだん会に参加することで、少し自分から主体的に行動するようになるかと自分がどんどんおもしろくなり、個性豊かな人々に囲まれすばらしい行動力を間近にして、有意義なコミュニケーションもでき、私にとつて大変勉強になりました。

緑水会での思い出は沢山ありますが、特に思い出深いのは、ジャカルタ商工会議所の訪問です。現地では、テレビ局、新聞記者が囲む中、経済討論中は、ドキドキ、タジタジで、今でも冷や汗が出ます。それから緑水会が、主管する前から携わった「チャレンジ・オブ・トネ」です。イベントを成功させるため、よく話し合い、心一つになり行動したあの日々はなつかしい思い出です。また、「前橋まつり」でみんなで一つのみこしを担いで、バカさわぎしたことなど、数えあげればきりがありません。

緑水会で一番よかったのは、気がおけない友人がたくさんできたことです。これからもその友人を大切にしていきたいと思っております。長い間、本当にありがとうございました。

平成十一年四月から十二年三月までの新入会員です。



せき 直人  
(昭和48年 5月 8日)  
H11年 4月 5日入会

企業名 (有)丸セ紙工  
役職名  
住 所 前橋市天川大島町三 七六四 四



ふくだ さと き  
福田 聡樹  
(昭和44年 2月24日)  
H11年 5月 6日入会

企業名 (株)福田不動産  
役職名 店長  
住 所 前橋市大手町一 六一五



なかじま つぐ お  
中島 次夫  
(昭和33年9月14日)  
H11年 6月 4日入会

企業名 ソニー生命保険(株)  
役職名 ライフプランナー  
住 所 高崎市八島町五

住 所 前橋市問屋町一十一三 役職名 代表取締役社長 企業名 (株)久保田物産		住 所 前橋市三俣町二十九二十 役職名 取締役 企業名 老舗三俣せんべい(株)		住 所 前橋市表町一九十一 役職名 企画課長 企業名 日本交通公社前橋支店		住 所 勢多郡富土見村赤城山二七四一九 役職名 別館生活館 館長 企業名 (株)発田	
	く ぼ た ま こ と <b>久保田 誠</b> (昭和39年11月5日) H11年12月6日入会		よ し だ ま さ き <b>吉田 将輝</b> (昭和43年7月16日) H11年9月3日入会		も ち だ い ち ろ う <b>持田 一郎</b> (昭和32年4月20日) H11年7月5日入会		や ぎ は ら し げ お <b>八木原 重雄</b> (昭和41年12月16日) H11年6月4日入会

住 所 前橋市高井町一八一 役職名 主任 企業名 (株)小松屋本店		住 所 前橋市天川大島町三六十六 役職名 代表 企業名 JOBCREW		住 所 前橋市本町二二一六 役職名 前橋営業本部法人渉外部係長 企業名 (株)東和銀行		住 所 前橋市小相木町五五八 役職名 取締役総務部長 企業名 (株)文真堂書店	
	も り も と か つ や <b>森本 克哉</b> (昭和42年9月24日) H12年1月7日入会		き り ゅ う が く <b>桐生 岳</b> (昭和43年7月24日) H11年12月6日入会		は っ と り ま さ ひ る <b>服部 政博</b> (昭和42年12月14日) H11年12月6日入会		ほ し の よ う い ち <b>星野 洋一</b> (昭和41年10月15日) H11年12月6日入会

住 所 前橋市南町三二二二 役職名 代表取締役 企業名 (有)アイザック		住 所 前橋市総社町総社三二一〇六 役職名 代表 企業名 堀建築		住 所 前橋市朝日町三三三三六二〇六 役職名 代表 企業名 ファイナンシャルプランナー山岸事務所		住 所 前橋市高花台一一一六 役職名 企業名 (株)カミムラ	
	さ か い ふ み あ き <b>坂井 史明</b> (昭和43年10月24日) H12年2月4日入会		ほ り み つ お <b>堀 三男</b> (昭和40年4月10日) H12年2月4日入会		や ま ぎ し お さ む <b>山岸 修</b> (昭和38年6月14日) H12年2月4日入会		か み む ら て つ お <b>上村 哲郎</b> (昭和47年7月21日) H12年1月7日入会

住 所 前橋市島羽町八一九六 役職名 専務取締役 企業名 (株)ミヤマゲッドホーム		住 所 前橋市本町一四三井海上ビル7F 役職名 企業名 (株)北栄	
	か な い あ ゆ む <b>金井 歩</b> (昭和47年6月2日) H12年2月4日入会		な が さ か ま さ き <b>長坂 雅紀</b> (昭和44年1月31日) H12年2月4日入会

**退任後記**

平成十一年度は、経済不況の中での青年部活動でした。一方、これからの緑水会を考える一年であった年だと感じました。そんなときに会員の皆様のご協力により、広報誌を発行できまことに感謝いたします。

総務広報委員長  
山岸 直樹